

みずほCustomer Desk Report 2024/12/19 号(As of 2024/12/18)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	153.75
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	153.56	1.0494	161.28	1.2708	0.6338
SYD-NY High	154.87	1.0513	161.53	1.2730	0.6339
SYD-NY Low	153.33	1.0344	159.85	1.2563	0.6215
NY 5:00 PM	154.83	1.0351	160.32	1.2574	0.6218
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,326.87	▲ 1,123.03	日本2年債	0.5900%	0.0000%
NASDAQ	19,392.69	▲ 716.37	日本10年債	1.0600%	▲0.0200%
S&P	5,872.16	▲ 178.45	米国2年債	4.3566%	0.1119%
日経平均	39,081.71	▲ 282.97	米国5年債	4.4049%	0.1469%
TOPIX	2,719.87	▲ 8.33	米国10年債	4.5180%	0.1242%
シカゴ日経先物	38,550.00	▲ 810.00	独10年債	2.2410%	0.0095%
ロンドンFT	8,199.11	3.91	英10年債	4.5575%	0.0375%
DAX	20,242.57	▲ 3.80	豪10年債	4.2970%	▲0.0070%
ハンセン指数	19,864.55	164.07	USDJPY 1M Vol	10.05%	▲0.22%
上海総合	3,382.21	20.72	USDJPY 3M Vol	10.19%	▲0.14%
NY金	2,653.30	▲ 8.70	USDJPY 6M Vol	10.16%	▲0.07%
WTI	70.02	0.37	USDJPY 1M 25RR	▲1.41%	Yen Call Over
CRB指数	292.01	1.08	EURJPY 3M Vol	10.56%	0.06%
ドルインデックス	108.03	1.07	EURJPY 6M Vol	10.50%	0.02%

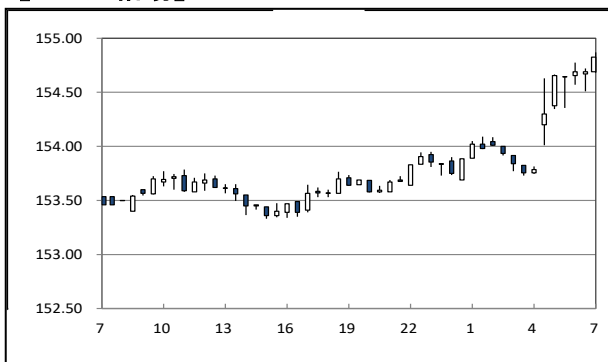
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月18日	08:50	日 貿易収支	11月 -¥117.6b	-¥687.9b
	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	11月 0.1%/2.6%	0.1%/2.6%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	11月 3.5%	3.6%
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	11月 -0.3%/2.2%	-0.3%/2.3%
	22:30	米 住宅着工件数	11月 1289k	1345k
	22:30	米 住宅着工件数(前月比)	11月 -1.8%	2.6%
	22:30	米 建設許可件数・速報	11月 1505k	1430k
	22:30	米 住宅建設許可(前月比)・速報	11月 6.1%	1.0%
12月19日	04:00	米 FOMC政策金利(下限/上限)	18-Dec 4.25%/4.50%	4.25%/4.50%

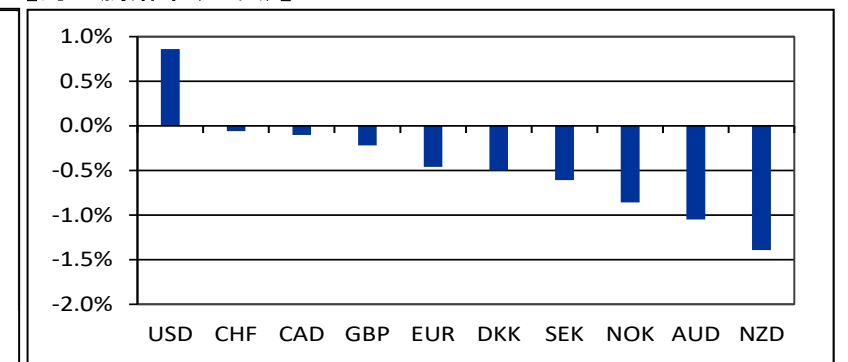
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月19日		日 日銀 金融政策決定会合	19-Dec 0.25%	0.25%
	15:30	日 植田日銀総裁 会見	19-Dec -	-
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	3Q T 2.8%	2.8%
	22:30	米 個人消費	3Q T 3.6%	3.5%
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況	12月 2.8	-5.5
	22:30	米 新規失業保険申請件数	14-Dec 230k	242k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.50-156.00	1.0250-1.0450	159.00-161.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は終盤にFOMCを抑える中で、動意薄く153円台後半でもみ合う展開が続いた。その後FRBが市場予想通り25bpの利下げを実施。同時に発表された経済見通しではインフレ見通しを大幅に引き上げ、来年以降の予想利下げ回数を4回から2回に引き下げたことで米金利上昇、ドル買い優勢に。ドル円は154円台後半まで上値を伸ばした。本日は日銀金融政策決定会合が予定されているが、今会合では政策金利の据え置きが濃厚であり、市場も既にそれを織り込んでいることからドル円相場への影響は限定的であろう。その後の植田日銀総裁による記者会見では、1月会合での利上げに関する発言が注目されており、発言内容次第でドル円も大きく変動する可能性が高い。もっとも昨日のFOMCのタカ派な内容を受けドル高地合いは継続すると想定されるため、下落幅は限定的。むしろ1月利上げに言及しなかった場合には156円台に乗せる展開も想定される。

東京	東京時間のドル円は153.56レベルでオープン。NY時間に12月FOMCの結果が公表されるため、警戒感が強まり動意に欠ける展開が続いた。ただ、日経平均株価の下落を横目に午後は軟調に推移し、一時153.33まで下落。結局、153.40レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場は本日のFOMCや明日の日銀、そしてBOEの政策金利発表を抑え様子見となった。ドル円は153.40レベルで始まり、153.34-153.83と小幅な推移となり、結局153.84レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0507レベルで始まり、1.0486から1.0513のレンジ圏での推移となり1.0491レベルでNYに渡った。尚、EUと英国の11月CPIが午前に発表され、いずれも予想とほぼ一致したことで市場の反応は限定的であった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、FOMC結果発表を抑え153.50付近での狭いレンジでの推移が続き、153.84レベルでNYオープン。朝方は住宅着工件数が予想を下回ったものの、FOMC結果を抑え、為替市場の反応は限定的となった。その後は米金利が低下する中、株式市場が上昇する展開にドル円はじり高で推移し154.09まで戻す。FOMC結果発表を前に一旦153.73まで反落したが、FOMCで予想通り25bpの利下げが発表される一方、1名据え置き票があったことや、四半期の1度更改される金利・景気見通しで、来年の金利見通しの中央値が3.75~4%と2回の利下げが示唆され、市場では3回の利下げ見通しが期待されていたことから効派との見方に金利が急伸、ドルインデックスも2022年11月のレベルまで上昇し、パウエル議長の「金利は中立水準に著しく近くなった」等利下げ終了が近づいていることを示唆する発言もあり、米10年債利回りは4.5%台まで戻す展開に、ドル円は154.87まで戻し、154.83レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、FOMC結果発表を抑え、1.0500付近での推移が続き、1.0491レベルでNYオープン。午前中は調整の動きからややユーロ売りが強まる局面もあったものの、小動きが続く。午後に入り、効派なFOMC結果が発表されると一気にドル買いが持ち込まれたことから、1.0344まで下落する。その後ショートカバーにやや値を戻す局面もあったものの、戻りは遅く、1.0351レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。